

県政だより

発行・池田はじめ事務所
〒699-0612

出雲市斐川町出西 2833

TEL 0853-73-7720

FAX 0853-73-7721

2014年1月発行

昨年は、外交問題に揺れた一年でした。中国、韓国との領土問題、東南アジアの経済発展、TPP参加問題など、目の離せない状況が現在も続いています。外交は国の役目。政府が毅然とした態度で、間違えない方向で、国益に逆らうことなく取り組んでくれる事を望みます。池田はじめは県民の為に島根の土地を守り、これから先も安心して暮らしていける環境を皆さんに提供する事が役目だと思っています。今後も県政充実に努めます。

島根県議会議員 池田 一



池田はじめ 平成 25 年の主な仕事

- ① 斐川上島線の早期開通。…阿宮、出雲南部地域の皆さん、斐川工業団地の皆さんや誘致企業の皆さんの利便性向上の為、斐川上島線(武部阿宮間)トンネル工事調査費を確保しました。来年度には阿宮区間の工事を完了し、再来年度よりトンネル工事につなげたいと思います。
- ② 宍道湖西岸堤防、斐伊川堤防の改修。…地域住民の皆さんの安全安心確保の為、十四間川の堤防、今在家・鳥井・上出西の堤防改修事業を国・県と一緒に頑張って尽くしました。
- ③ 宍道湖覆紗事業の推進…宍道湖しじみ漁復活の為、県単事業を進めて国の事業に繋げました。
- ④ 災害防止為の活動…地域にある砂防ダム、がけ崩れ危険個所の修復に県・出雲市と取組ました。

斐川上島線早期開通知事要望(9月18日)



斐川進出企業の皆さんと共に、知事に対し、斐川上島線早期開通の要望に出向きました。知事より前向きな回答をいただき、トンネル工事調査費を1年前倒しで、今年度より確保しました。

十四間川堤防工事の様子(12月)



地元の皆さんの強い要望もあり、十四間川の堤防改修がなされることになりました。また、国交省・県の協力を得て、今在家・鳥井・上出西の堤防改修、道路工事も進められることになりました。

琵琶湖視察調査(9月2~3日)

湖水の環境汚染に対する自治体の取組を調査する為、琵琶湖の視察調査をしました。写真は、はびこった外来種の藻の撤去作業の様子です。近年宍道湖でも多生する藻の駆除について、藻刈り船を研究しています。

池田はじめ 昨年の仕事



昨年は大雨により、県内で多くの災害が発生しました。設置されている砂防ダムに土砂が溜まったままだと、いざという時、機能しません。土砂を取り除き、災害に備える必要があります。

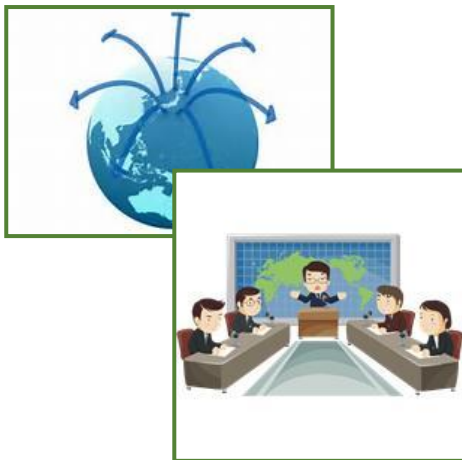
災害予防(砂防ダムの土砂の掘上げ)



《シリーズ2・教育を考える》子供たちへの教育とは

そもそも「教育」って？

私は前回の県政だよりで、「教育とは子供たちが自分の力や価値を自ら発見し、社会で活躍していく為の糧となるもの。」とお話しました。「力」を付ける場は家庭であり、「価値」を発見する場は学校であり、「勇気」を与える場は地域です。テストの点数も大事だけれど、点数だけでその子の「良さ」を見つけ出すことはできるのでしょうか？子供たちの「知りたい」「学びたい」という気持ちを受け止め、それをサポートするのが我々大人の役割なのでは？我々が、子供達の「伸びる力」を信じ続けていけば、子供達は「学ぶことの意義と楽しさ」を実感することができます。一歩引いて見守る・・・って難しいことですが、でも、とても大切なことですよ。



「教育」のあるべき姿って？

でも、社会は厳しい！これから社会に出ていく子供達は世界を相手に戦わなければなりません。教育の場、ビジネスの場で「グローバル化」が叫ばれています。色々な地域や国を知り暮らす人達を知る。これは難しい事ではありません。テレビやインターネットを通じてたくさんの情報を得ることができます。こうして得た情報について家族や友人、先生方と語り合うことで子供達は知識を深めます。世界で活躍できる人材を島根からどんどん輩出するためには、子供達の「声」をもっと聞いてあげないとイケない。そして、一緒に未来を考え目標を探し勇気づけ自信を持たせて社会に送り出さないとイケない。家庭+学校+地域、すべてが、「教育」の場ですよ。池田はじめは、子供達のキャリア教育充実に努めます。

視察レポート

私は、県内の高校をくまなく歩いています。昨年は中山間地・離島の8校を視察調査しました。西は吉賀、津和野高校から矢上、飯南、島根中央、横田、隠岐、そして隠岐島前高校です。現在、島根県では、「高校魅力化プロジェクト」を進行中。生徒数を増やし、充実した教育内容にしようというものです。しかし、各地域、少子化が進み思うように生徒が集まりません。そこで留学生の受け入れが必要になってきます。一番の成功事例は隠岐島前高校！着実に生徒数が増え、教室や寮、職員室も賑やかです。各校の寮の整備を早急に進めなくてはなりません！



いけだはじめのヒトコト

私自身、病で入院を余儀なくされました。その日々の中での体験・・・車いすを使った生活、闘病中の皆様との語り、病院スタッフからの手厚い看護。「医療」の大切さと重要性を再認識する貴重な時間でした。リハビリ中の自分へ、大学生の息子からのヒトコト。「思い出を語り合うことも大切、でも、未来を想像することはもっと大事。考えること、動くことを止めちゃダメだからね〜。」息子は知らない間に大人になっていたようです。こちらも負けてはいられません！島根県は高齢化が進んでいます。経験したこと、感じたこと、考えたことを活かし、私が先頭に立って島根県の医療・介護のさらなる充実を図っていきます。2014 Thinking! Moving!

